

多摩地区の滞在時間分析

今泉ゼミ

I. 目的

多摩大学にちなみ、「多摩地域を成長させるために、人の流れを分析する」ということを目的とした。分析対象となる地域は多摩市近隣地区である。

II. 分析手段

RESAS という地域経済分析システムを用いて、「ある地区への滞在人口について、どの地区から来たのか」というデータを収集。ここでいう滞在人口とは、「1日においてある地域に2時間以上滞在していた人の数」である。携帯・スマートフォンの普及が著しい中、携帯の位置情報より集めたデータである。

「ある地区への滞在人口について、どの地区から来たのか」がわかったら、条件付確立より「ある地区を出発した人はどの地区にばらまかれているか」を求め、考察する。